

Beaujolais Nouveau 2026



畑の様子(ジョルジュ・デコンブ) 2025 年 7 月

テラヴェールがご提案するのは、自然を大切にした造り手が、その土地の個性を素直に映し出したヌーヴォーです。
今年も、ボジョレーらしい果実味を楽しめるシャトー・カンボンと、凝縮感と奥行きを備えたジョルジュ・デコンブ、
個性の異なる2つの「ほんもので美味しいワイン」をお届けします。

<2026 ヴィンテージについて>

Chateau Cambon

冬から春にかけては理想的な天候で、葡萄の健康状態は非常に良好でした。シーズンを通して病害は一切確認されませんでしたが、7月17日の雹で、収穫量の約30%が失われました。フレッシュで飲みやすく、アルコール度数が高すぎないワインに仕上げるため、今年の収穫開始は例年より早い8月21日を予定しています。

Georges Descombes

冬と春の天候は非常に良好でした。7月16日、17日の雹害で8haの畑が失われ、特にブルイイで大きな被害を受けました。例年以上に気候変動の影響を強く実感させる出来事でした。収穫は昨年同様9月初旬を予定しています。
降雨状況により遅らせる可能性もあります。今年も凝縮度の高い、飲み応えのあるヌーヴォーが期待されます。

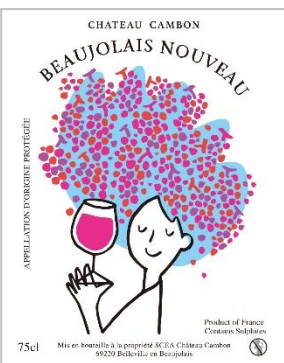
マルセルの意思を継ぐ2つの造り手



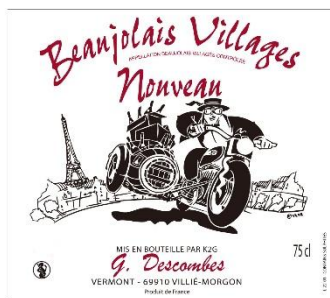
ジュル・ショヴェ、そしてマルセルの教え

60歳の若さで他界したマルセル・ラピエール。ボジョレー地区だけでなくフランス全土で彼のヴァン・ナチュールに対する考え方は多くの造り手達に支持され急速に広がっていった。マルセルは78年より自然なワイン造りに傾倒していく。80年にジュル・ショヴェ氏と出会ったことで想いは確信に変わったと言う。30年以上に渡って自然なワイン造りを追求し続けてきたマルセル・ラピエールの一番弟子と言われるのがジョルジュ・デコンブ。元々瓶詰め業者としてマルセルのボトリングを行っていたが、彼の人柄、ワインに魅せられた。そして、毎年ラピエールの収穫の手伝いに来ていたマリー。マルセルと意気投合し結婚、シャトー・カンボン立ち上げた。現在は高齢のマリーに代わり、次世代となるアレクサンドル氏が彼らのワイン造りを引継いだ。

Chateau Cambon



Georges Descombes

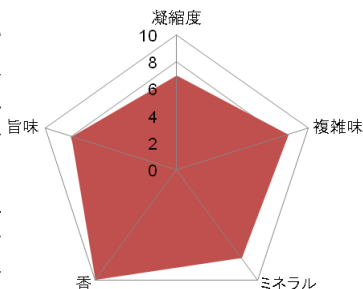


マルセルからマリー、そして次の世代へ

ある年の収穫、マルセルの元へ集まった人達の中にマリーがいた。意気投合し結婚。シャトー・カンボン立ち上げた。マルセルのそばで幾多のヴィンテージを共に経験してきたマリーは現在高齢となり、次世代の若い力を探していた。そこに手を挙げたのが、それまでワインの仲介業をしていたアレクサンドル氏だった。「変わらずに、続けていくこと」これだけがマリーの条件。いままマリーはそばで見守っている。

溢れる赤果実のアロマ

グラスから溢れるような明るい赤系果実の香りと旨味が印象的。粘土質の多い畑を主体に健全な房のみを厳しく選果。野生酵母のみで自然に醸造し、SO2の使用を極限まで抑えることで、果実味豊かでチャリングな、やさしさに満ちたヌーヴォーを生み出す。

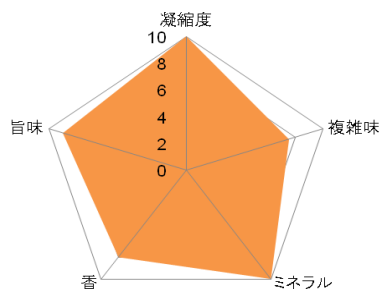


マルセルの一番弟子

「私が造りたいのはこういうワインだ」初めてマルセルのワインを口にした時の衝撃を、ジョルジュは今でも忘れない。一番弟子としてマルセルのワイン造りの理念を学び、また、彼を通してジュル・ショヴェの教えも学んだジョルジュ。彼の畑はマルセルと同じヴィリエ・モルゴン村にある。花崗岩の上に風化した粘板岩が重なるこの村は、10あるクリュ・ボジョレーの中でも、力強く骨格のしっかりとしたワインを生む。

ヌーヴォーの域を超える凝縮感

さらにジョルジュの畑は村の中で最も標高が高い。冷涼な気候と日夜の気温差が葡萄をゆっくりと成熟させ、良質なタンニンを含み、驚く程の凝縮感と力強さ、そして野生酵母由来の複雑味をワインに与える。マルセルの意思を継ぎ、モルゴンを代表するボジョレーの造り手となったジョルジュのヌーヴォー。

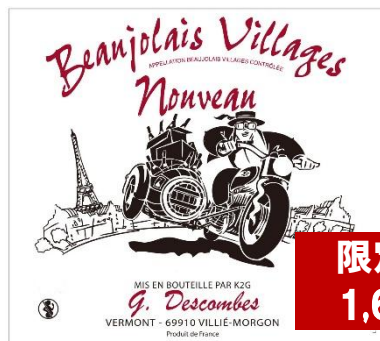




ボジョレー・ヌーヴォー2026 取扱銘柄



限定本数
2,880 本



限定本数
1,620 本

Chateau Cambon Beaujolais Nouveau 2026

シャトー・カンボン ボジョレー・ヌーヴォー

参考上代:4,500 円

商品記号:AL436 JAN: 4580852923864

故マルセル・ラピエールと奥さんマリー、マルセルの幼馴染であるシャヌデの3人で出資して始めたのがシャトー・カンボン。高齢となったマリーとシャヌデに代わり、2023年にアレクサンドルが引き継いだ。ワイン造りについては何も変わらない。コルセル・アン・ボジョレー村など粘土質の多い土壌が主体。果実味豊かでチャミングな、まさにヌーヴォーの見本と言えるスタイル。
※ヌーヴォーは野村ユニソン様との併売になります。(ラベルは異なりますが、中身は同じワインです。)

2026 ヴィンテージについて

冬から春にかけては理想的な天候で、葡萄の健康状態は非常に良好でした。シーズンを通して病害は一切確認されませんでしたが、7月17日の雹で、収穫量の約30%が失われました。フレッシュで飲みやすく、アルコール度数が高すぎないワインに仕上げるため、今年の収穫開始は例年より早い8月21日を予定しています。

Georges Descombes Beaujolais Villages Nouveau 2026

ジョルジュ・デコンブ ボジョレー・ヴィラージュ・ヌーヴォー

参考上代:4,600 円

商品記号:AL437 JAN: 4580852923871

トラックでの移動式ボトリング業者として働いていたジョルジュ・デコンブ。故マルセル・ラピエールのボトリングをしていた時にワインを飲んで開眼。マルセルに頼み込み、学び、ワイン造りを開始する。モルゴンを本拠地にしており、全ての畑は高所にあり、樹齢も高い。よって収穫は他の造り手よりも極端に遅く、葡萄は複雑味を持ち、凝縮している。モルゴンだけでなく、ヌーヴォーに関しても圧倒的な濃厚さ、複雑性を持っている。

2026 ヴィンテージについて

冬と春の天候は非常に良好でした。7月16日、17日の雹害で8haの畑が失われ、特にブルイイで大きな被害を受けました。例年以上に気候変動の影響を強く実感させる出来事でした。収穫は昨年同様9月初旬を予定しています。降雨状況により遅らせる可能性もあります。今年も凝縮度の高い、飲み応えのあるヌーヴォーが期待されます。

《ご予約に関して》

入荷数が限られているため、お早めのご予約をおすすめいたします
お取引のある酒販店様へお問い合わせください

納品予定日:11月18日(水)